

研究論文一覧

List of Research by IBS Researchers

1 学会などの論文

(査読付)

- 秋元伸裕・有賀康平・塚田伸也・原田昇・森田哲夫（2025）：地方都市における高齢者の生活交通手段と日常生活に関する研究,「交通工学論文集（特集号）」
- 秋元伸裕・原田昇・富岡秀虎・森田哲夫（2024）：地方都市における高齢者の生活交通の現状と課題 ―世帯間同乗による送迎の実態に着目して―,「土木学会論文集」
- 秋元伸裕・原田昇・富岡秀虎・森田哲夫（2023）：群馬県における世帯間車同乗トリップの現状分析,「交通工学論文集第9巻第4号（特集号A）」
- 石神孝裕・稲原宏・石井良治・磯野昂士・菊池雅彦（2025）：都市交通計画の検討プロセスにおける探索型シナリオ・プランニングの適用可能性,「都市計画学会論文集」
- 井村祥太郎・中道久美子・萩原剛・中野光太郎（2024）：COVID-19の状況下におけるエコ通勤のプロモーションや取組実績に関する分析,「土木学会論文集」
- 磯野昂士・石井良治・高橋慧・高宇涵・小出和政・千田亮輔・富岡秀虎・森本章倫（2023）：3D都市モデルを活用した個別建築物の建替えと個人の転居行動を考慮した都市構造シミュレータ～宇都宮市におけるLRT導入や立地適正化計画等の施策効果の分析～,「都市計画論文集」
- 稲原宏・石川岳男・矢田部貴司・近藤和宏・菊池雅彦（2023）：都市機能誘導区域における市街地の構造がまちの賑わいに与える分析手法に関する研究 -さいたま市の取組みをもとに人の移動・活動の観点から検討手法を考える-,「2023年度全国大会（第58回論文発表会）都市計画論文」
- 上野優太・矢部努・木本悠太・富樫大輝・福田大輔（2023）：ETCデータを活用した外環道千葉県区間の開通に伴う沿線居住者等のOD変化に関する分析,「交通工学研究発表会」
- 大沢昌玄・岸井隆幸・中村英夫・菊池雅彦（2024）：流市法に基づく流通業務団地造成事業創設背景にある都市課題と検討経緯に関する史的研究,「都市計画論文集 Vol.59 No.2」
- 何功（2025）：オーストリアにおける地方バス路線の確保維持制度,「交通学研究」
- 何功・高瀬翼・春木孝之・楽奕平（2024）：オープンデータを用いた複数事業者横断の運行経路別公共交通時刻表の効率的な作成手法,「土木学会論文集」
- 何功・楽奕平・永田右京（2024）：地域公共交通のあるべき補助方式への一考察 ―赤字補填からの脱却の主張に着目して―,「土木学会論文集」
- 小松崎諒子・石井良治・青野貞康・小笠原裕光（2025）：アクティビティ・ベースド・シミュレータを用いた西遠都市圏における将来シナリオ分析―属性別の「暮らし」指標の評価可能性の検討―,「都市計画論文集」
- 小松崎諒子・高秀賢史・谷口賢太・青野貞康・萩原剛・東智徳・長田哲平（2024）：都市活動調査からみた移動とオンライン活動の実態に関する基礎的分析 ―栃木県宇都宮市・芳賀町をケーススタディとして―,「都市計画論文集」
- 高山範理・田中亘・鄭芯蕊・笹田敬太郎・都築伸行（2025）：林業従事者におけるマニュアル遵守行動の規定因：性格特性と属性・経験等の検討,「環境情報科学論文集」

- 高山範理・鄭芯蕊・山田祐亮・山浦悠一（2025）：森林資源情報を基礎とした森林の圍繞景觀の評価・予測技術の開発：高知県吾川郡いの町を対象とした視点場のポテンシャル評価,「日本森林学会誌」
- 徳永達己・萩野保克（2024）：まちづくり事業におけるRCTを用いたインパクト評価の適用可能性,「国際開発学術研究 Vol.24 NO.2」
- 羽佐田紘之・水野杏菜・北村清州・金森亮（2024）：交通手段選択モデルによるAIオンデマンド交通の利用意向の分析 ―高蔵寺ニュータウンにおけるRP・SP調査データの活用と潜在変数や異質性の考慮―,「都市計画論文集」
- 羽佐田紘之・長谷川大輔・本間裕大・佐野可寸志・大口敬（2023）：トラベルコストに基づいた施設の価値評価と訪問者の分類の手法,「土木学会論文集」
- 中尾聡史・樋野誠一・毛利雄一・白水靖郎・片山慎太郎・東徹・藤井聡（2024）：南海トラフ巨大地震と首都直下型地震の長期的経済被害の推計（論文ID：22-00042）,「土木学会論文集2024年80巻8号」
- 福本大輔・青野貞康・菊池雅彦・久保田尚（2023）：大規模開発に伴う交通影響評価制度に関する日韓比較 ～日本の交通影響評価への知見についての一考察～,「都市計画論文集」
- 水野杏菜・羽佐田紘之・森田一平・北村清州・金森亮（2026）：ポイント型GPSデータを用いた地域内のメッシュ間移動需要の推計,「交通工学論文集（特集号）」
- 茂木渉（2026）：OD表推計における現在パターン法に関するレビュー ―理論基盤と実務適用上の留意点―,「土木学会論文集2026年82巻1号」
- 山本卓登・何玢（2024）：市町村における地域公共交通政策の財源認識と運用の実態：市町村アンケートを基に,「交通学研究」
- Daisuke FUKUMOTO and Masami YOKOTSUKA（2023）：Research regarding formulation of guidelines for underground usage associated with urban development, ACUUS, Singapore.
- Yuhan Gao, Jan-Dirk Schmoecker（2023）：Inferring travel patterns and the attractiveness of touristic areas based on Fusing Wi-Fi sensing data and GPS traces with a Kyoto case study, “Transportation Research Board Annual Meeting 2023” .
- Hiroyuki HASADA, Anna MIZUNO, Yuhan GAO, Seishu KITAMURA, Ryo KANAMORI（2024）：Comparison of new mobility services using RP-SP mode choice models considering latent variables and heterogeneity, “The 28th HKSTS International Conference”
- Hiroyuki HASADA, Anna MIZUNO, Yuhan GAO, Seishu KITAMURA, Ryo KANAMORI, Takayuki MORIKAWA（2024）：Choice modeling for user intentions in on-demand service, “Proceedings of the 17th International Conference on Travel Behaviour Research”
- Koshi ISONO, Takahiro ISHIGAMI, Shun FUJIMATSU, Syoichi FUNAMI, Shigeoki TANAKA（2025）：Efforts Toward Realizing a New Urban Transportation Survey System in Japan, “TRB”
- Tomoya KAWASAKI, Yusaku NAMBA, Hideki OKA, Maxim A. DULEBENETS（2023）：Freight trip distribution using spatiotemporal aggregate data: A modified collective flow diffusion model-based approach, “Transportation Research Interdisciplinary Perspectives Volume 21” .
- Takayuki KISHII（2024）：Parking areas that support comfort and safety in urban pedestrian environments, IATSS Research Vol.48
- Takayuki KISHII（2023）：Parking areas that support comfort and safety in urban pedestrian environments, “IATSS Research” .
- Takayuki KISHII, Raymond Sterling, Richard S.C. Ting（2023）：Lessons Learned from Underground Shopping Centers in Two Japanese Cities, “18th Conference of the Associated Research Centers for the Urban Underground Space” .

Xinrui ZHENG and Norimasa TAKAYAMA (2025) : Relationships Between Spatial Metrics and Forest Landscape Beauty Across Viewing Distance Zones: Implications for Forest Management in Ino Town, Japan, "ISPRS International Journal of Geo-Information"

(一般)

- 秋元伸裕・長井健太・何功・堀内勝光(2025) : 大都市圏郊外における公共交通の現状とこれからの公共交通政策に関する一考察, 「第72回土木計画学研究発表会」
- 有元勇人・廣川和希・北村清州・茂木渉・円山琢也・福田大輔(2025) : Web回答促進が統計調査結果に及ぼす影響の要因分析—令和6年度道路交通センサスOD調査事前調査より—, 「第72回土木計画学研究発表会・講演集」
- 石川達也・石井良治・小笠原裕光(2025) : アクティビティ・ベースド・シミュレータにおける活用を想定した標準的な個人データ生成モデルの構築, 「土木学会全国大会」
- 石川達也・遠藤光晟・三輪富生・茂木渉(2025) : 潜在クラスモデルを用いたキャプティブ層を考慮した高速転換率内生化利用者均衡配分モデルの検討, 「土木計画学研究発表会・秋大会」
- 磯野昂士・石井良治(2025) : 都市マイクロシミュレーションの居住地選択モデルにおける住宅供給量制約の考慮, 「第72回土木計画学研究発表会・講演集」
- 磯野昂士・水野杏菜・石川達也・石井良治(2024) : 3D都市モデルを活用した個別建築物と世帯のマッチングを行う都市構造シミュレーションの開発, 「第70回土木計画学研究発表会・秋大会」
- 井村祥太郎・中道久美子・萩原剛・水口旺大(2023) : 事業所におけるCOVID-19禍前後の「エコ通勤」継続状況に関する分析, 「第68回土木計画学研究発表会・秋大会」
- 上野優太・廣川和希・北村清州・岡英紀・茂木渉・円山琢也・福田大輔(2025) : ETC2.0プローブデータの特性を考慮したOD拡大法の提案, 「第72回土木計画学研究発表会・秋大会」
- 海老名謙・澁井健人・加藤稔菜・片桐暁・齋藤綾・小松崎諒子・鈴木弘之・萩原剛(2025) : LRT開業とバス路線再編を契機にした沿線高校・大学向けモビリティ・マネジメント, 「第20回JCOMM」
- 岡英紀・宮内弘太・森田一平・湯本圭輔・田宮佳代子・門間俊幸・伊藤高・藤原章正・神田佑亮(2024) : G7広島サミットの交通総量抑制施策による交通行動の変化に関する分析, 「土木計画学研究発表会・春大会」
- 加藤稔菜・澁井健人・海老名謙・谷口賢太・溝口哲平・有元勇人・富田絵唯奈・矢部努・萩原剛・小室仁・高野博亮・久保田俊紀・野原絢(2025) : LRT開業とバス路線再編を契機にした沿線住民・企業向けモビリティ・マネジメント「MOVE NEXT UTSUNOMIYA」, 「第20回JCOMM」
- 桑原昌広・中村俊之・牧村和彦・絹田裕一(2026) : 生活道路30km/h規制施行時のPassive dataによる実践的交通モニタリング手法の提案, 「実践政策学」2025年11巻2号 p. 173-184, 2025年(2026/01/08公開)
- 小松崎諒子・福本大輔・高砂子浩司・鈴木葉子・芝康行(2024) : シカゴリバーウォークにおける川沿い歩行空間の整備・運用体制, 「第69回土木計画学研究発表会・講演集」
- 島田孝司・塩見康博・中尾聡史・岡英紀・磯谷公嗣(2025) : 物流DX時代における「新たな官民協働」の可能性に関する研究, 「土木計画学研究発表会・秋大会」
- 島田孝司・塩見康博・岡英紀・磯谷公嗣(2024) : トレーラ・トラクタ方式における「特車通行手続き」の簡易迅速化に関する研究, 「土木計画学研究発表会・秋大会」
- 鈴木麟太郎・萩原剛・富岡秀虎・森本章倫(2024) : LRT開業と併せたモビリティ・マネジメントが居住地選択に与える影響に関する研究, 「第69回土木計画学研究発表会・講演集」
- 谷亮太・津田哲宏・加藤大樹・水野杏菜・羽佐田紘之・木全淳平・萩原剛・北村清州(2024) : ロードマップに基づいたモビリティ・マネジメントの実践と検証 春日井市高蔵寺地区を対象に, 「第70回土木計画学研究発表会・講演集」
- 千島武丸・大森宣暁・長田哲平・青野貞康(2024) : 宇都宮都市圏におけるLRT西側延伸時の通勤交通手段転換可

- 能性に関する研究,「土木計画学研究発表会・講演集Vol.69」
- 土田晃久・大森宣暁・長田哲平・青野貞康（2023）：宇都宮都市圏における自動車からLRTへの通勤交通手段転換可能性に関する研究,「土木計画学研究・講演集」
- 長井健太・秋元伸裕・何功・堀内勝光（2025）：利用者1人当たりの運行経費に着目したデマンド交通の評価指標の提案,「第72回土木計画学研究発表会」
- 萩原剛・水野杏菜・羽佐田紘之・津田哲宏・加藤大樹・藤原啓一郎・上仮屋敏美・岡本恵子・中川志帆・金森亮（2024）：高蔵寺ニュータウンにおける「モビリティポート」による交通結節点のスマート化の効果分析,「第70回土木計画学研究発表会・講演集」
- 羽佐田紘之（東京大学）・水野杏菜・森田一平・北村清州・金森亮（2024）：ICLVモデルによるAIオンデマンド交通のシナリオ分析,「第70回土木計画学研究発表会・講演集」
- 羽佐田紘之・茂木渉・Yuhan Gao・岡英紀（2024）：リンク分割を組み入れた頑健なマップマッチング手法の提案と比較,「第69回土木計画学研究発表会・講演集」
- 羽佐田紘之・水野杏菜・北村清州・金森亮（2023）：高蔵寺ニュータウンにおけるAIオンデマンド交通を含む交通手段選択モデルの構築,「第68回土木計画学研究発表会・講演集」
- 廣川和希・北村清州・江田裕貴・上野優太・福田大輔（2024）：道路交通センサスOD調査データから読み解く今後の自動車利用動向に関する一考察,「第70回土木計画学研究発表会・講演集」
- 藤原啓一郎・津田哲宏・加藤大樹・萩原剛・水野杏菜・羽佐田紘之・上仮屋敏美・岡本恵子・中川志帆・金森亮（2024）：交通結節点のスマート化によるモビリティサービスへの考察,「第70回土木計画学研究発表会・講演集」
- 舟波昭一・田中成興・井上聡子・小松崎諒子・谷口賢太・矢田部貴司・森尾淳・中野敦（2025）：全国都市交通特性調査の試験調査に関する基礎的分析,「第72回土木計画学研究発表会・秋大会（企画提案型）」
- 水口旺大・益塚真哉・中道久美子・萩原剛・井村祥太郎（2023）：「エコ通勤」のさらなる普及に向けたツール類の刷新・統合,「第18回日本モビリティ・マネジメント会議」
- 水野杏菜・森田一平・羽佐田紘之・北村清州・金森亮（2024）：ポイント型GPSデータに基づく高解像度な拡大OD分布の推計,「第70回土木計画学研究発表会・講演集」
- 宮木祐任・小松崎諒子（2023）：通勤形態の変容を踏まえた都市構造評価指標の再考 産業別の勤務頻度に着目して,「都市計画報告集」
- 茂木渉（2025）：Mean Field Game理論による動的利用者均衡配分モデルの提案と統一的理論枠組—交通現象の支配方程式—,「第72回土木計画学研究発表会」
- 茂木渉・加藤昌樹（2025）：ネスティッドロジット型利用者均衡配分モデルにおける利用者の多様な時間価値を考慮した経路選択枝集合の作成方法—データ包絡分析法による作成—,「第71回土木計画学研究発表会」
- 茂木渉（2023）：OD表推計における現在パターン法の理論と拡張に関する検討,「2023年度人工知能学会全国大会（第37回）」
- 茂木渉（2023）：最短経路探索に基づくマップマッチング手法における複数の観測点の位置情報を用いたリンクコストの開発,「第68回土木計画学研究発表会」
- 森田一平・水野杏菜・羽佐田紘之・北村清州・金森亮（2024）：高蔵寺ニュータウンにおけるデマンド交通シミュレーション評価—定時デマンド交通とフルデマンド交通の比較—,「第70回土木計画学研究発表会・講演集」
- 谷貝等（2025）：人口減少時代における公共交通機関の運行サービスの維持方策—三陸地域におけるタクトファールプランの導入—,「日本都市学会年報 VOL.58」
- 吉田幸司・林田雄介・塩見康博・岡英紀・島田孝司（2025）：商用車プローブデータからみる「物流2024年問題」前後のトラック運行形態変化に関する一考察,「土木計画学研究発表会・秋大会」
- Fuga Mayuzumi, Takao Dantsuji（2025）:A multifidelity simulation-based inference framework for

calibrating agent-based model parameters, 「第72回土木計画学研究発表会・秋大会」

- Ippei MORITA, Anna MIZUNO, Hiroyuki HASADA, Seishu KITAMURA, Ryo KANAMORI (2024)
:Evaluation of Novel Mobility Service Mixed Ride-Share with Shuttle Bus for a Shopping Center in a Suburban Residential Area, "The 28th HKSTS International Conference"
- Nobuaki OHMORI, Sadayasu AONO (2023) : Investigating Preferences of Commuters' Modal Change When Introducing Light Rail Transit: A Case in Utsunomiya City, Japan, "EASTS2023" .
- Hitoshi YAGAI (2024) : BRT in Japan and the Beneficial Effect of Tokyo BRT. "Geographical Reports of Tokyo Metropolitan University, Vol.59, p.113-118." , 2024

2 雑誌記事

- 石神孝裕 (2026) : 都市における総合交通体系 ―日本の都市交通計画はどこで道を分けたのか, 「運輸と経済」, 第86巻第3号, 2026年3月, 一般財団法人交通経済研究所
- 稲原宏 (2025) : まちづくりの健康診断の定量的指標について③ ～まちづくり健康診断への人流データの活用可能性について～, 「新都市」, 第79巻 第7号, 2024年7月号, 公益財団法人都市計画協会
- 稲原宏 (2024) : 都市交通調査プラットフォームの取り組みについて, 「新都市」, 第78巻 第10号, 2024年10月, (公財) 都市計画協会
- 遠藤玲・矢島隆・福元正武・西村巧 (2025) : マルチモーダルで実現する持続可能な都市交通 : PIARC TC 2.1 「都市圏におけるモビリティ」報告, 「道路」1006, 2025年1月, 日本道路協会
- 大西博文・谷野知伸・西村巧 (2024) : PIARC道路データブックの編纂: PIARC「道路統計委員会」の活動報告, 「道路」1005, 2024年12月, 日本道路協会
- 岸井隆幸 (2025) : 「駅」と「まち」と「駅前広場」の変貌, 「新都市ハウジングニュース」, Vol.116, 2025年4月, (一社) 新都市ハウジング協会, p1-23
- 岸井隆幸 (2025) : 地下空間の未来を考える, 「Civil Engineering Consultant」, Vol.307, 2025年4月, (一社) 建設コンサルタンツ協会, p28-31
- 岸井隆幸 (2025) : まちづくりのために「攻める駐車場政策」を, 「都市と交通」, No136, 2025年7月, (公社) 日本交通計画協会, p1
- 岸井隆幸 (2025) : ウォーカブルな都市への転換, 「新建築」, Vol.100 No.8, 2025年7月, (株) 新建築社, p30-33
- 岸井隆幸・田中成明 (2025) : これからの有楽町を考える, 「Oh!」, Vol.55, 2025年9月, (一社) 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会, p1-4
- 岸井隆幸 (2025) : 都市プランナーの潮流, 「区画整理士会報」, No.237, 2025年11月, (一社) 全日本土地区画整理士会, p2-97
- 岸井隆幸 (2025) : 昭和100年: 日本における都市と交通の歴史・未来, 「運輸と経済」, No.942, 2025年12月, (一財) 交通経済研究所, p14-19
- 岸井隆幸 (2025) : 東日本大震災から15年, 「新都市」, Vol.80 No.3, 2025年3月, (公財) 都市計画協会, p3-6
- 岸井隆幸 (2024) : エキマチプロジェクトに向かって: 「鉄道駅」から「マチのエキ」に, 「日本鉄道施設協会誌」 Vol.62, 2024年7月, (一社) 日本鉄道施設協会
- 岸井隆幸 (2024) : 駅が抱える空間―にぎわいと余白 (座談会), 「建築雑誌」 Vol.139 No.1795, 2024年12月, 日本建築学会
- 岸井隆幸 (2023) : 緑豊かな街路空間は私たちの広場である, 「都市緑化技術」 No.122, 2023年6月, (公財) 都市緑化機構
- 岸井隆幸 (2023) : 巨大災害への対応: 「連携」の基盤づくり, 「土木学会誌」 Vol.108 No.10, 2023年10月, (公

社) 土木学会

- 岸井隆幸・長谷部健・内藤廣・星野浩明 (2023) : 広域渋谷圏が東京をより魅力的にする, 「東京人」 No.475, 2023年1月, 都市出版株式会社
- 島田孝司・兵藤哲朗・岡英紀・津田智之 (2023) : 長距離輸送を担保するトレーラ・シェアリングの新方式, 「交通工学」 Vol.58 No.4, 2023年10月, 交通工学研究会
- 西村巧 (2023) : PIARCスペシャルプロジェクト「スマート道路の区分」 コネクテッド・自動運転の時代に対応する道路インフラ, 「道路」 No.993, 2023年12月, 公益社団法人日本道路協会
- 樋野誠一・村上悠馬・金井義和 (2025) : 交通工学のための統計的因果推論 第3回「実務事例の紹介」, 「交通工学」, Vol.60, No.3, 2025年7月, (一財) 交通工学研究会
- 福本大輔 (2023) : バルセロナにおけるスマートシティに関する取り組み, 「区画整理」 66巻11号, 2023年11月, 公益社団法人街づくり区画整理協会
- 牧村和彦 (2026) : モビリティの進化は暮らし方・不動産価値・消費をどう変えるのか, 「まちとレジャーとモビリティ」, 「月刊レジャー産業」, 2026年1月号
- 牧村和彦 (2026) : MaaSが交通工学を変える, 交通工学研究会60周年特集, 「交通工学」 Vol. 60 No. 5, 2025
- 牧村和彦 (2026) : 交通事故を減らすための安全, 安心なまちづくり～幸せを量産する社会の実現に向けて～, 月刊誌「交通安全教育」, 2026年1月号
- 牧村和彦 (2025) : 新たな交通の要「モビリティハブ」とは? 移動の促進が地域を救う, 「日経クロストレンド」, 2025年4月2日
- 牧村和彦 (2025) : バスは消え、タクシーは来ない…全国2割「移動難民」化の悲劇! なぜ「足」は奪われたのか?, 「メルクマール」, 2025年4月30日
- 牧村和彦 (2025) : タクシー不足は嘘だった!? 全国でたった80万人しか使わなかった「日本版ライドシェア」の致命的誤算, 「メルクマール」, 2025年5月27日
- 牧村和彦 (2025) : バルセロナ「21世紀の街路」計画とは? 都市空間を人中心に大改造, 「日経クロストレンド」, 2025年6月3日
- 牧村和彦 (2025) : 「バス = 不便」は日本だけ? 世界ではバス専用レーン増加中、日本だけ逆行——公共交通の異常問題とは, 「メルクマール」, 2025年7月10日
- 牧村和彦 (2025) : クルマ依存からの脱却 スペイン地方都市が環境投資で激変できたワケ, 「日経クロストレンド」, 2025年8月14日
- 牧村和彦 (2025) : mありがとうm, 「JCOMM20周年記念誌」, 2025年9月25日
- 牧村和彦 (2025) : MaaSに何故取り組むのか～先進国からの知見とは～, 国土交通省「COMmmONS (コモンズ)」, 2025年11月28日
- 牧村和彦 (2025) : 地方創生の源～欧米の都市交通ビジョンと一体のDX、GX戦略とは～, 国土交通省「COMmmONS (コモンズ)」, 2025年12月12日
- 牧村和彦 (2025) : ビル・ゲイツも出資、自動運転の本命「APRT」 ロボタクシーはもう古い, 「日経クロストレンド」, 2025年12月24日
- 牧村和彦 (2025) : 新春論壇 ワンチームが移動産業を救う, 交通新聞社, 2025年1月3日
- 牧村和彦 (2025) : モビリティハブが都市(まち)と交通を変える, 「都市と交通」, 2025年1月号
- 牧村和彦 (2025) : なぜフランクフルトは「モビリティ天国」なのか? ترام人気、MaaSアプリ乱立……日本が学ぶべき「進化する交通事情」とは?, 「メルクマール」, 2025年1月23日
- 牧村和彦 (2025) : 「渋滞課金」が都市交通を救う? ニューヨーク初の試み 緊急リポート, 「日経クロストレンド」, 2025年2月20日
- 牧村和彦 (2025) : 無人運転時代のスマートシティ戦略, 「研究開発リーダー」, 2025年3月

- 牧村和彦（2024）：幸せを量産するMaaSの展望,「国づくりと研修」151号,2024年3月
- 牧村和彦（2024）：日本産MaaSの特徴と現状,「国民生活センター」,2024年4月号
- 牧村和彦（2024）：モビリティ新時代の駐車場革命,「Parking」247号,2024年7月
- 牧村和彦（2024）：毎年130万人交通事故「死者数」が世界大戦の犠牲を超える日！日本は世界有数の自動車生産国 その責任は重い,「メルクマール」,2024年4月6日
- 牧村和彦（2024）：「1万台の自動運転バス」計画の衝撃 フォルクスワーゲンも参画,「日経クロストレン」,2024年4月10日
- 牧村和彦（2024）：独ハンブルク市「1万台の自動運転バス」計画の衝撃,日経新聞電子版,2024年5月1日
- 牧村和彦（2024）：MaaS 栄枯盛衰,「JCoMaaS活動報告書2023」,2024年5月
- 牧村和彦（2024）：元祖「MaaSグローバル」退場の衝撃 モビリティ革命の火は消えたのか,「日経クロストレン」,2024年5月29日
- 牧村和彦（2024）：「自動運転＝最新技術」と思いきや無人バスが30年以上も運行される国があった！,「メルクマール」,2024年5月31日
- 牧村和彦（2024）：ライドシェアの行方～国家総動員の日本版ライドシェア 虚像と実像～,共同通信,2024年6月
- 牧村和彦（2024）：MaaS元祖スタートアップ破綻 どうなるモビリティ革命,日経新聞電子版,2024年6月17日
- 牧村和彦（2024）：「昭和の原風景」をパリに見る 路上駐車が激減 通学路を歩行者専用,「日経クロストレン」,2024年7月3日
- 牧村和彦（2024）：“道路”の進化が止まらない！数千万台の自動車から収集される「リアルタイム情報」の衝撃 欧米より10年以上遅れた日本どうなる,「メルクマール」,2024年7月18日
- 牧村和彦（2024）：パリ五輪の裏で進むモビリティ革命 「バスの車庫」が再開発の目玉に？,「日経クロストレン」,2024年7月31日
- 牧村和彦（2024）：トヨタ会長も訴えた「交通安全の限界」 なぜ“時速20kmのまちづくり”が世界的トレンドになっているのか？,「メルクマール」,2024年8月19日
- 牧村和彦（2024）：パリで進むモビリティ革命 「バスの車庫」を再開発,日経新聞電子版,2024年8月21日
- 牧村和彦（2024）：ライドシェア 自動運転がもたらす「クルマ社会の終わり」と金鉱脈,「日経クロストレン」,2024年9月18日
- 牧村和彦（2024）：オンデマンド交通は「路線バス」の代替ではない！グーグル&アマゾンに学ぶべき「マイカーの代替」戦略とは,「メルクマール」,2024年10月16日
- 牧村和彦（2024）：70代が支える“マイカー社会”の現実！免許返納後、移動の選択肢はどう変わるのか？,「メルクマール」,2024年11月8日
- 牧村和彦（2024）：マイカー半減、交通事故35%減 ベルギー「ウォークアブルな街」驚きの成果,「日経クロストレン」,2024年11月24日
- 牧村和彦（2024）：運賃政策が変われば世界は変わる JR東「タッチレス改札」への期待,「日経クロストレン」,2024年12月26日
- 牧村和彦（2024）：海外におけるモビリティ・ハブ事例と日本への導入に向けて,特集：公共交通とまちづくり,「新都市」,2024年3月号
- 牧村和彦（2023）：街全域「最高時速30km」が世界の新標準？ 環境・安全を両立する交通政策をご存じか,「メルクマール」,2023年4月3日
- 牧村和彦（2023）：「カーフリー五輪」打ち出すロサンゼルス 全米でMaaSに巨額投資,「日経クロストレン」,2023年4月19日
- 牧村和彦（2023）：通学路にクルマはいらない？パリの180か所が「歩行者専用」化で親子安心 日本の一歩先を行く政策とは,「メルクマール」,2023年5月12日

- 牧村和彦（2023）：「究極のMaaS」月7400円で公共交通が乗り放題、通勤定期も優遇,「日経クロストレン
ド」,2023年5月18日
- 牧村和彦（2023）：クルマから街を取り戻す！事故とは無縁で、平和な新概念「ビルアペゼ」をご存じか,「メルク
マール」,2023年6月5日
- 牧村和彦（2023）：2年半で死傷者1400人 英国の電動キックボード「事故レポート」から 日本が真剣に学べ
きことは,「メルクマール」,2023年6月21日
- 牧村和彦（2023）：カーゴバイクは現代の「エコ軽トラ」 脱炭素時代の主役に急浮上,「日経クロストレン
ド」,2023年6月21日
- 牧村和彦（2023）：カーゴバイクは現代の「エコ軽トラ」 脱炭素時代の主役,日経新聞電子版,2023年7月8日
- 牧村和彦（2023）：ガソリン車は中心街を走れなくなる？欧州進む規制、どうする日本,「日経クロストレン
ド」,2023年7月19日
- 牧村和彦（2023）：3連節バス「日本に合わない」は大間違い！世界各地で大流行する納得の理由とは,「メルク
マール」,2023年8月6日
- 牧村和彦（2023）：インタビュー モビリティ革命をもたらす「小さい交通」とは（前編）,「Grasp」,2023年8
月8日公開
- 牧村和彦（2023）：インタビュー 移動手段の変化により、街はビジネスはどう変わる？,「Grasp」,2023年8月
10日公開
- 牧村和彦（2023）：電動キックボードが都市交通に与える影響は？ ロンドンの利用実態,「日経クロストレン
ド」,2023年8月23日
- 牧村和彦（2023）：インタビュー 北陸鉄道石川線存続へ 背景に2024年問題 バス転換（BRT）見送
り,NHK,2023年8月30日
- 牧村和彦（2023）：インタビュー 深刻 タクシー不足 都市部も地方も,NHKビジネス特集,2023年9月8日
- 牧村和彦（2023）：インタビュー タクシー運転手4年で2割減 コロナや高齢化による離職が背景に,NHK,2023
年9月9日
- 牧村和彦（2023）：日本で不人気「ご当地MaaS」 世界では逆にブームになっているワケ,「メルクマー
ル」,2023年9月11日
- 牧村和彦（2023）：電動キックボードが都市交通に与える影響 英国の実態,日経新聞電子版,2023年9月11日
- 牧村和彦（2023）：MaaSでまちづくり変えた「ブリュッセルの奇跡」 何をしたのか,「日経クロストレン
ド」,2023年9月22日
- 牧村和彦（2023）：「ライドシェア解禁」議論白熱も そもそも欧米・中国企業に勝ち目あるのか、という根本疑
問,「メルクマール」,2023年9月23日
- 牧村和彦（2023）：インタビュー 【特集2】「Beyond MaaS」の新しいモビリティ社会へ,「MM
Report」,2023年9月号 No.327
- 牧村和彦（2023）：MaaSでまちづくり変えた「ブリュッセルの奇跡」,日経新聞電子版,2023年10月11日
- 牧村和彦（2023）：駐車場空間の見直し必須 自動運転、ライドシェアが変える都市の姿,「日経クロストレン
ド」,2023年10月17日
- 牧村和彦（2023）：「ライドシェア解禁」はフランスから学べ 成長著しい背景には“ボーナス制度”があった！,
「メルクマール」,2023年10月23日
- 牧村和彦（2023）：自動運転が変える都市の姿 駐車場空間の見直し必須,日経新聞電子版,2023年11月6日
- 牧村和彦（2023）：インタビュー 外国人ドライバーも！タクシー運転手不足なぜ？対策は 詳しく,NHKこども
ニュース,2023年11月8日
- 牧村和彦（2023）：パリ五輪目の交通大改革 クルマの交通量45%減,何を変えたのか,「日経クロストレン

ド」,2023年11月19日

牧村和彦（2023）：巻頭特集<<ライドシェア>> 幸せの量産をもたらす魔法の杖か その課題と提言,「政経週報」,2023年12月4日号

牧村和彦（2023）：新宿バスタ2倍以上の駐停車スペース！サンフランシスコに突如現れた巨大「バスターミナル」をご存じか,「メルクマール」,2023年12月16日

牧村和彦（2023）：ドイツの「MaaS先進都市」最新現地レポート 日本と何が違うのか,「日経クロストレンド」,2023年12月18日

牧村和彦（2023）：幸せを量産するMaaSの展望,特集：これからの道路のあり方,「国づくりと研修」,2023年12月

牧村和彦（2023）：ドイツ「MaaS先進都市」現地レポート 日本との違いは,日経新聞電子版,2024年1月15日

牧村和彦（2023）：新種MaaSが続々誕生 新たなキーワードは「寄り道」である,「メルクマール」,2024年2月2日

牧村和彦（2023）：自転車&電動キックボードシェアリング普及の鍵は？ 北米レポート,「日経クロストレンド」,2024年2月8日

牧村和彦（2023）：「メガSUVブーム」欧州で大問題に！車両の大型化で死亡リスク30%増の報告 パリではSUV規制を問う住民投票も,「メルクマール」,2024年2月19日

牧村和彦（2023）：なぜ今さら「ライドシェア」？世界とあまりにも違う日本の非常識,「日経クロストレンド」,2024年2月29日

牧村和彦（2023）：なぜ今さら「ライドシェア」？世界と違う日本の非常識,日経新聞電子版,2024年3月20日

牧村和彦（2023）：特斯拉が 대중車に？ 無人のクルマに何度も遭遇、米MaaS最新ルポ,「日経クロストレンド」,2023年1月

牧村和彦（2023）：フランスの自動車広告がなぜか「徒歩」「自転車」「公共交通」を熱心に勧めるワケ,「メルクマール」,2023年2月

牧村和彦（2023）：道路は誰のもの？ 歩行者優先、オープンレストラン出店、NYの今,「日経クロストレンド」,2023年2月

牧村和彦（2023）：「人間は交通事故を必ず起こす」 こんな失敗前提に立った最先端の安全対策「ビジョンゼロ」をご存じか,「メルクマール」,2023年2月

牧村和彦（2023）：トヨタもびあも「スポーツ×MaaS」参戦 狙いは地域経済への波及,「日経クロストレンド」,2023年3月

3 講演などの発表

石神孝裕（2025）：データで描く都市と交通の未来,「令和7年度都市計画実務者講習会」,2025年8月20日

石神孝裕（2025）：港区および東京都心部における 次世代型TODの形成状況,「『モビまち研』第8回勉強会」,2025年10月20日

石神孝裕（2025）：都市計画・都市交通計画におけるデータ活用ー人の移動とシミュレーションー,「スマートシティ講座 第6回」,2025年11月6日

石神孝裕（2026）：人々の移動から見たクリエイティブな都市,「コミュニティ・グリーンとコミュニティ・クリエイティブ小委員会」,2026年2月6日

石神孝裕（2026）：「データ」で学び「プランニング」で進化するデータ駆動型まちづくり,「福山市都市再生協議会講演会」,2026年1月22日

石神孝裕（2026）：歩きたくなる“まちなか”が都市を強くする,「公共交通フォーラム 2026」,2026年2月28日

石神孝裕（2026）：持続可能な都市と交通のためのデータ駆動型プランニング,「都市懇サロン」,2026年2月10日

- 和泉範之・稲原宏（2025）：香川県の都市ビジョンの再構築に向けて -なぜパーソントリップ調査なのか-,「第11回 高松広域都市圏 都市交通マスタープランフォローアップ委員会」,2025年1月26日
- 稲原宏（2024）：これからの都市交通調査ー（仮）ローカルマネジメントー,第70回土木計画学研究発表会秋大会 スペシャルセッション「これからの社会を見据えた都市交通調査体系」,土木計画学研究委員会,2024年11月16日
- 何功（2024）：地域公共交通活性化再生行政を解読する～混在する政策目的の切り分けを手掛かりに～,「クロスセクター効果研究会」,クロスセクター効果研究会,2024年4月25日
- 何功（2024）：地域公共交通活性化再生行政の論点,「2024年度研究大会基調講演」,交通権学会,2024年7月13日
- 何功（2024）：公共交通政策における領域区分,「土木計画学講習会 バスを中心とする地域公共交通計画一大都市交通不便地域を中心に」,土木計画学研究委員会「新しいモビリティサービスやモビリティツールの展開を前提とした交通計画の包括的小委員会」,2024年7月30日
- 何功（2024）：オンデマンド交通など新モードの特性,「地域公共交通に関わる若手コンサルタント技術者研修（名古屋会場）」,萬創社,2024年9月7日
- 何功（2024）：オンデマンド交通など新モードの特性,「地域公共交通に関わる若手コンサルタント技術者研修（長野会場）」,萬創社,2024年9月14日
- 何功（2024）：日本の都市交通政策における地域公共交通計画の現状と課題,「都市交通決起集会」,熊本都市交通リノベーション研究チーム,2024年11月15日
- 何功（2024）：地域公共交通活性化再生行政を解読する～混在する政策目的の切り分けを手掛かりに～,「モビリティ講座」,未来都市・モビリティ研究所,2024年12月15日
- 何功（2024）：古賀市で考える自治体の地域公共交通政策におけるValue for Money（VFM）最大化,「古賀市交通政策人材育成セミナー」,古賀市,2024年12月17日
- 何功（2024）：都市交通政策の復権を求めて～活性化再生法時代をいま振り返る～,「第16回全国路面電車サミット 宇都宮」,全国路面電車サミット2024宇都宮実行委員会,2024年1月28日
- 何功（2024）：地域公共交通活性化再生行政の事業評価制度の性格に関する一考察,「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会in上田」,同実行委員会,2024年3月17日
- 何功（2023）：生存権保障の一手段としての公共交通ー政策のあり方を実務現場から考えるー,「ナショナルミニマム不在の医療・交通 ～これからの生活保障に向けて～」,日本プライマリ・ケア連合学会学生・研修医部会中四国支部島根大学鉄道研究会中国地方学生鉄道連盟,2023年2月26日
- 何功（2023）：都市交通政策における地域公共交通計画の策定・運用の現状と課題,「生活様式の変化を考慮した脱炭素社会の都市交通政策評価研究プロジェクト」,(公社)日本交通政策研究会,2023年3月15日
- 何功（2023）：いくつかの地域での実践を踏まえた本提案の評価,「土木計画学ワンデイセミナー『地域公共交通ブラーシングの新提案ー運賃設定にまつわる固定観念を越えてー』」,土木計画学研究委員会 公共交通ブラーシング研究小委員会,2023年3月16日
- 岸井隆幸（2025）：地下空間の明日を考える,「第30回地下空間シンポジウム」,土木学会,2025年1月24日
- 岸井隆幸（2025）：Underground in Japan,「留学生のための地下空間セミナー Underground」,計画・交通研究会,2025年2月21日
- 岸井隆幸（2025）：産官学の連携可能性,「オープンシンポジウム」,日本都市計画学会 海外の都市開発分野における産学官の連携のための交流分科会,2025年2月27日
- 岸井隆幸（2025）：Sports Complexの実現に向けて,「自由民主党スポーツ議連」,自民党スポーツ議連,2025年4月9日
- 岸井隆幸（2025）：品川プロジェクト,「計画交通研究会セミナー」,計画交通研究会,2025年5月22日,
- 岸井隆幸（2025）：Tokyo's Recipe,「パナマTODセミナー」,JICA,2025年7月8日

- 岸井隆幸（2025）：「受け身の基盤整備」から「攻めの基盤整備」へ,「都市基盤整備事業推進大会特別講演」,全国街路事業促進協議会,2025年10月30日
- 岸井隆幸（2025）：公共交通とまちづくり-人生100年時代を迎えて-,「都市モノレール実務セミナー」,(一社)日本モノレール協会,2025年11月19日
- 岸井隆幸（2025）：今後の仙台の都市・交通計画-まちづくりにおける地下鉄への期待-,「地下鉄東西線開通10周年記念シンポジウム」,(一財)計量計画研究所,2025年12月3日
- Takayuki KISHII（2025）：Underground Spaces in Japan, "19th World Conference of ACUUS", ACUUS, November 5, 2025
- 岸井隆幸（2024）：スポーツコンプレックス,「自民党スポーツ政策議員連盟勉強会」,自民党スポーツ議連,2024年5月21日
- 岸井隆幸（2024）：健康とまちづくり,「第66回日本老年医学会学術集会」,(一社)日本老年医学会,2024年6月13日
- 岸井隆幸（2024）：奥行きのあるまちづくりに向けて,「大宮駅東口駅前にぎわい拠点まちづくりシンポジウム」,さいたま市,2024年9月2日
- 岸井隆幸（2024）：大丸有のエリアマネジメントについて,「みち活勉強会」,番九クリスマスマルシェ実行委員会,2024年9月27日
- 岸井隆幸（2024）：都心の近未来,「都心サミット」,(一社)大都市政策研究機構,2024年10月16日
- 岸井隆幸（2024）：パネルディスカッションコーディネーター,「区画整理と街づくりフォーラム」,(公社)まちづくり区画整理協会,2024年10月24日
- 岸井隆幸（2024）：レイクタウン開発の歴史と今後,「越谷市市民大学」,越谷市,2024年11月26日
- 岸井隆幸（2024）：パネルディスカッションパネリスト,「FACEシンポジウム」,(一社)大丸有まちづくり協議会,2024年12月5日
- 岸井隆幸（2024）：上野地区まちづくりビジョンとこれからのまちづくり,「上野地区まちづくりビジョンシンポジウム」,台東区役所,2024年2月5日
- 岸井隆幸（2024）：一巡した暦の先にあるもの,「土木学会関東支部創立60周年記念式典」,土木学会関東支部,2024年3月18日
- 岸井隆幸（2023）：ナビゲーター,「明日を守るナビ：エリア防災生まれ変わる街の機能を知ろう!」,NHK,2023年5月11日
- 岸井隆幸（2023）：プロジェクトから見る次の「駅とまち」の関係,「鉄道運輸機構講演会」,鉄道運輸機構,2023年6月16日
- 岸井隆幸（2023）：司会,「日本老年学会年次総会シンポジウム」,日本老年学会,2023年6月17日
- 岸井隆幸（2023）：「新東京水辺百景へ」未来のTOKYOに向けた水辺の整備・活用,「東京の河川を考えるシンポジウム2023」,東京都,2023年7月25日
- 岸井隆幸（2023）：MM21の50年とまちづくりの変化,「インフラ整備70年：戦後の代表的な100プロジェクト」,建設コンサルタンツ協会,2023年8月21日
- 岸井隆幸（2023）：スポーツと街づくり,「スポーツ立国推進塾」,日本スポーツ政策推進機構,2023年9月26日
- 岸井隆幸（2023）：コメンテーター,「日曜美術館『建築家・内藤廣～渋谷駅・世界一複雑な都市計画を率いる男～』」,NHK,2023年10月23日
- 岸井隆幸（2023）：コメンテーター,「漫画家イエナガの複雑社会を再定義：渋谷再開発」,NHK,2023年10月27日
- 岸井隆幸（2023）：パネラー,「リニア中間4駅による広域中核地方圏の創造と国土構造の改編～日本をエンパワーメントする～」,リニア中間駅（4駅）を中心とする地域活性化に関する検討委員会,2023年11月6日
- 岸井隆幸（2023）：主要ターミナル駅のまちづくりと大宮GCS化構想,「さいたま市議会GCS特別委員会」,さいた

- ま市議会,2023年12月20日
- Takayuki KISHII (2023) : TOD Master Plan & TOKYO'S Recipe,「JICAインドプロジェクト講演会」,JICA,2023年8月28日
- Takayuki KISHII (2023) : TODM in TOKYO & TOKYO'S Recipe,「JICAタンザニアプロジェクト講演会」,JICA,2023年9月8日
- Takayuki KISHII (2023) : Shibuya Project in the History of TOKYO Urban Development,「ASEAN諸国政府職員に対する建設産業政策プログラム」,国土交通省,2023年10月27日
- Takayuki KISHII (2023) : Lessons learned from Underground Shopping Centers in two Japanese Cities, "18th Conference of ACUUS", ACUUS, November 2, 2023
- 高山範理・田中亘・鄭芯蕊・笹田敬太郎・都築伸行(2025) : 林業従事者におけるマニュアル遵守行動の規定因 : 性格特性と属性・経験等の検討,「2025年度環境情報科学研究発表大会」,2025年12月12日
- 津田哲宏・中村奏大・水野杏菜・森田一平・有元勇人・萩原剛・北村清州(2025) : 春日井市における「1日限定! 路線バス無料デー」の実施と効果,「第20回日本モビリティ・マネジメント会議」,2025年9月12日
- 津田哲宏・加藤大樹・羽佐田紘之・水野杏菜・木全淳平・谷亮太・萩原剛(2023) : ロードマップに基づいた高齢者MMの実践と検証 - クルマ社会においてバスの利便性を失わないために -,「第18回日本モビリティ・マネジメント会議」,(一社)日本モビリティ・マネジメント会議,2023年9月23日
- 萩原剛(2025) : モビリティ・マネジメントとモビリティサービス(MaaS)について,「令和7年度研修『道路整備施策』」,2025年7月9日
- 萩原剛(2023) : モビリティ・マネジメントとモビリティサービス(MaaS),「令和5年度研修『道路整備施策』」,一般財団法人全国建設研修センター,2023年7月5日
- 福本大輔(2024) : 今後のウォークアブル空間創出の流れにおける駐車場の整備・活用の方向性,「仙台駐車協会春季研修会」,仙台駐車協会,2024年2月16日
- 本間裕大・長谷川大輔・羽佐田紘之・絹田裕一(2026) : 川越一番街の歩行者天国試行実施を支えた交通影響評価のOR実践,「日本オペレーションズ・リサーチ学会 2026年春季研究発表会アブストラクト集」,2026年3月5日
- 牧村和彦(2026) : 基調講演「モビリティハブの価値と可能性」,「スマートモビリティチャレンジシンポジウム～新たなモビリティサービスとモビリティハブの役割」,2026年2月4日
- 牧村和彦(2026) : 地域創生を推進する交通まちづくり～世界のモビリティ最新動向と九州MaaSへの期待～,(一社)九州経済連合会 2025年度交通委員会,2026年2月17日
- 牧村和彦(2026) : 都市交通政策の先進動向～リ・デザインの最前線～,「日本鉄道技術協会中部支部講演会」,2026年3月5日
- 牧村和彦(2025) : モビリティ革命の最前線,南山大学非常勤講師,2025年5月14日
- 牧村和彦(2025) : モビリティ革命とMaaS(マース),関東地整「モーダルコネクト研修」,2025年5月28日
- 牧村和彦(2025) : 基幹都市交通がまちを変えていく,「BRT等新たなバス交通システム研究部会シンポジウム」,2025年6月2日
- 牧村和彦(2025) : 都市交通政策の先進動向～リ・デザインの最前線から学ぶ～,「東京大学スマートシティアスカー2025年度春季コース」,2025年6月9日
- 牧村和彦(2025) : モビリティ革命の最新動向,神戸大学「連続リレー講義社会基礎学」,2025年6月28日
- 牧村和彦(2025) : 世界の潮流からみるMaaSの今後～観光振興への可能性～,都立大学「2025年度観光産業の実際」,2025年7月9日
- 牧村和彦(2025) : モビリティ革命と電動化,「大阪商工会議所モビリティクラスター ～モビリティの電動化に不可欠な技術～」,2025年7月28日
- 牧村和彦(2025) : 幸せを量産するスローなまちづくり～出会いの空間と地方創生、世界の新潮流～(内閣府SIPⅢ

- 期調査成果より),「内閣府SIPⅢ期成果報告宮崎シンポ」,2025年8月8日
- 牧村和彦(2025):賛否両論のライドシェア～ライドシェアは幸せを量産する魔法の杖なのか～,「秋田さきがけ政経懇話会 8月例会」,2025年8月19日
- 牧村和彦(2025):賛否両論のライドシェア～ライドシェアは幸せを量産する魔法の杖なのか～,「秋田さきがけ政経懇話会 8月例会」(横手),2025年8月20日
- 牧村和彦(2025):幸せを量産するモビリティ戦略～TOKYO2050グランドデザイン改定に向けて～,東京都「都市づくりのグランドデザインの改定に向けた検討会」,2025年9月3日
- 牧村和彦(2025):交通結節点の最前線,「Plug and Play Opening Talk」,2025年9月8日
- 牧村和彦(2025):理論と実践～冷静と情熱の間で～,「土木学会全国大会」,2025年9月9日
- 牧村和彦(2025):「20年のJCOMMの歩みとこれから」パネルディスカッション,2025年9月12日
- 牧村和彦(2025):移動革命でまちが変わる～幸せを量産するモビリティ戦略に向けて～,JAPIO「フューチャー21」,2025年9月19日
- 牧村和彦(2025):Beyond万博 変わる移動とまちの価値、「いのちをまもる街、社会、技術」持続可能な未来への課題と着眼点,大阪・関西万博フランス館,2025年9月24日
- 牧村和彦(2025):新たなモビリティサービス最前線～幸せを量産する福岡のり・デザインに向けて～,福岡経済同友会,2025年10月1日
- 牧村和彦(2025):モビリティイノベーションの最前線,モビリティイノベーションの社会応用,2025年10月28日
- 牧村和彦(2025):牧村和彦(2025):MaaS(マース)と交通まちづくり,「令和7年度研修 交通まちづくり」,2025年11月6日
- 牧村和彦(2025):ウォークラブルなまちでの交通との共存の姿～幸せを量産するプロムナードに向けて～,「千葉市まちづくりシンポジウム」,2025年11月20日
- 牧村和彦(2025):都市交通政策の先進動向～り・デザインの最前線から学ぶ～,「東京大学スマートシテスクール2025年度秋季コース」,2025年11月21日
- 牧村和彦(2025):幸せを量産するプローブデータ活用に向けて,「交通工学シンポジウム 民間プローブデータを用いた社会課題解決に向けて」,2025年12月5日
- 牧村和彦(2025):自動運転時代の交通まちづくり～り・デザインの最前線から学ぶ～,日本ナレッジセンター,2025年12月16日
- 牧村和彦(2025):都市交通政策の先進動向～り・デザインの最前線～,「地下研&UIT」,2025年12月19日
- 牧村和彦(2025):世界で躍動するMaaS最前線,「オートモーティブワールド」,2025年1月23日
- 牧村和彦(2025):世界で躍動するMaaS最前線,「ITS国際標準化フォーラム」,自動車技術会,2025年1月28日
- 牧村和彦(2025):モビリティサービスのり・デザイン～九州に必要なモビリティの進化とは～,「スマートモビリティチャレンジ九州」,2025年2月3日
- 牧村和彦(2025):モビリティ革命の最前線～観光振興への可能性～,～モビリティ×観光～,近畿経済産業局ナレッジシェア交流会,2025年2月10日
- 牧村和彦(2025):MaaS(マース)と交通まちづくり,「ふじMaaS交流会」,富士市,2025年2月12日
- 牧村和彦(2025):自動化と交通まちづくり,近畿経済産業局MaaSハンズオン,2025年2月27日
- 牧村和彦(2025):デジタル時代の交通まちづくり戦略,～まちの魅力、地域の価値向上のためのモビリティ戦略～,「ReVisonサミット2025」,2025年3月5日
- 牧村和彦(2025):都市のり・デザイン～日本に必要なモビリティの進化とは～,マイクロモビリティを取り巻く環境変化と将来展望,「電子情報通信学会総大会」,2025年3月27日
- 牧村和彦(2024):ライドシェア～幸せの量産をもたらす魔法の杖なのか 課題と提言～,大分政経懇話会,2024年4月8日、9日

- 牧村和彦（2024）：モビリティサービスのリ・デザイン最前線,「イード・オンラインセミナー」,2024年4月24日
- 牧村和彦（2024）：パネルディスカッション,モビリティピッチ2024 春シーズン（第22回）「日本版MaaSの本質と将来展望」,2024年5月19日
- 牧村和彦（2024）：モビリティ革命とMaaS（マース）,関東地方整備局モータルコネクト研修,2024年5月24日
- 牧村和彦（2024）：MaaS時代の交通まちづくり～MaaSが都市（まち）を変える～,UDC神戸,2024年6月27日
- 牧村和彦（2024）：都市交通政策の先進動向～都市×移動DXの最前線から学ぶ～,「東京大学スマートシティスクール」2024年度春季コース,2024年7月5日
- 牧村和彦（2024）：モビリティ革命の最新動向,日本大学,2024年7月5日
- 牧村和彦（2024）：モビリティ革命の最新動向,社会基礎学,神戸大学,2024年7月13日
- 牧村和彦（2024）：モビリティ革命の最前線～観光振興への可能性～,国土インフラ計画と観光,都立大学,2024年9月4日
- 牧村和彦（2024）：次世代モビリティ開発 特別対談,「第3回オートモーティブワールド【秋】」,2024年9月6日
- 牧村和彦（2024）：「地域交通を変革するMaaS2.0～テクノロジードリブンで地域交通DXを加速～,Plug and Play Japan株式会社,2024年9月13日
- 牧村和彦（2024）：基調講演：次世代の都市交通サービスのリ・デザイン,～道央圏における新しい公共交通の取組みについて,「第7回北海道MaaS推進セミナー」,2024年9月24日
- 牧村和彦（2024）：モビリティサービスのリ・デザイン～公民共創時代のMaaS戦略～,九州MaaS協議会,2024年9月27日
- 牧村和彦（2024）：モビリティサービスのリ・デザイン～脱炭素時代のMaaS最前線～,「EVリスキリング講座」,2024年
- 牧村和彦（2024）：モビリティイノベーションの最前線,モビリティイノベーションの社会応用,筑波大学,2024年10月22日
- 牧村和彦（2024）：MaaSの最前線とコンサルの役割、期待～公民共創時代のデジタル戦略へ～,「ITS専門委員会報告会・勉強会」,（一財）建設コンサルタンツ協会,2024年10月23日
- 牧村和彦（2024）：都市のリ・デザイン～日本に必要なモビリティの進化とは～,Plug&Play Japanイベント,2024年10月30日
- 牧村和彦（2024）：MaaS（マース）と交通まちづくり,「令和6年度研修 交通まちづくり」,（一財）全国建設研修センター,2024年11月7日
- 牧村和彦（2024）：モビリティサービスのリ・デザイン～脱炭素時代のMaaS最前線～,「未来世紀都市学研究アライアンス定例会」,神戸大学,2024年11月13日
- 牧村和彦（2024）：今そこにある危機,「都市交通決起集会」,地域公共交通勉強会,2024年11月15日
- 牧村和彦（2024）：実践的なスマート・モビリティ・サービスのリ・デザイン～IBSコンソ～,土木計画学SS9,2024年11月17日
- 牧村和彦（2024）：モビリティハブの取り組み～地域拠点と交通まちづくり～,埼玉県研修,2024年11月18日
- 牧村和彦（2024）：都市交通のリ・デザインとモビリティ・ハブ,日本ナレッジセンター,2024年12月11日
- 牧村和彦（2024）：「馬淵・渡辺の#ビジトビ」,TOKYO FM,2024年4月28日
- 牧村和彦（2024）：駅の「時刻表」集約やウェブサイトへの案内の動き広がる, NHK,2024年2月19日
- 牧村和彦（2024）：西武鉄道など駅ホームの「時刻表」撤去の動き ウェブサイトでの案内広がる…その背景は?,NHK首都圏ナビ,2024年2月21日
- 牧村和彦（2023）：北陸鉄道石川線存続へ 背景に2024年問題 バス転換（BRT）見送り,NHK金沢,2023年8月30日
- 牧村和彦（2023）：パネルディスカッション,ゆっくりを軸とした地区づくりのための交通・道路・都市のあり方を

- 考える「人と多様なモビリティが共生する安全で心ときめくまちづくり調査」, : 2023年5月12日
- 牧村和彦 (2023) : スマートシティ時代のスマートモビリティ戦略, 愛知県ITS推進協議会「ITSあいち県民フォーラム2023」, 2023年5月16日
- 牧村和彦 (2023) : 官民連携によるモビリティのり・デザイン, 福岡県MaaS実行委員会, 2023年5月17日
- 牧村和彦 (2023) : バブルは本当にはじけたのか, モビリティピッチ, 2023年5月19日
- 牧村和彦 (2023) : モビリティ革命が都市を変える, 日本ナレッジセンター, 2023年5月26日
- 牧村和彦 (2023) : モビリティ革命とMaaS, 関東地方整備局モータルコネクト研修, 2023年5月29日
- 牧村和彦 (2023) : モビリティ革命とMaaS (マース), 社会基礎学 I 第4回, 筑波大学, 2023年6月17日
- 牧村和彦 (2023) : モビリティからモビリティ社会へ〜クロスイノベーションによる新たな価値創造〜, 「次世代テックフォーラム」, 大阪商工会議所, 2023年7月13日
- 牧村和彦 (2023) : モビリティ革命の最新動向, 社会基礎学, 神戸大学, 2023年7月15日
- 牧村和彦 (2023) : Beyond MaaS時代の高速道路とマネジメント, NEXCO東日本, 2023年7月19日
- 牧村和彦 (2023) : モビリティ革命とMaaS (マース), 日本大学, 2023年7月21日
- 牧村和彦 (2023) : MaaSの最新動向と今後の展望〜モビリティ戦略とMaaS計画作法〜, 「ふじMaaS推進協議会設立祈念セミナー」, 2023年7月25日
- 牧村和彦 (2023) : NHKビジネス特集 深刻タクシー不足都市部も地方も・・・, 2023年9月2日
- 牧村和彦 (2023) : NHK タクシー運転手4年で2割減 コロナや高齢化による離職が背景に, 2023年9月9日
- 牧村和彦 (2023) : モビリティ戦略の新潮流, 大阪商工会議所第1回クラスター会議, 2023年9月12日
- 牧村和彦 (2023) : 市民・地域が必要とする地域公共交通とモビリティ・マネジメント, 金沢市議会地域交通特別委員会, 2023年10月6日
- 牧村和彦 (2023) : 本音でMaaS〜バブルは本当にはじけたのか〜, IATSSサロン, 2023年10月12日
- 牧村和彦 (2023) : モビリティイノベーションの最前線, モビリティイノベーションの社会応用, 筑波大学, 2023年10月24日
- 牧村和彦 (2023) : MaaS (マース) と交通まちづくり, 「交通まちづくり」, (一財) 全国研修センター, 2023年11月2日
- 牧村和彦 (2023) : MaaS (マース) と交通まちづくり, 岐阜県MaaSセミナー, 2023年11月6日
- 牧村和彦 (2023) : オトナも気になるこどもニュース, 外国人ドライバーも! タクシー運転手不足なぜ? 対策は 詳しく, NHK, 2023年11月8日
- 牧村和彦 (2023) : 都市交通政策の先進動向〜都市×移動DXの最前線から学ぶ〜, 東京大学スマートシティスクール, 2023年11月18日
- 牧村和彦 (2023) : カーボンニュートラルに向けたモビリティ社会が生み出す新たな価値創造, 「機器・部品メーカー懇談会」, 2023年11月22日
- 牧村和彦 (2023) : MaaS (マース) と交通まちづくり, 福岡県研修事業, 2023年11月24日
- 牧村和彦 (2023) : モビリティハブへの期待, 次世代の交通・まちづくりを担う「モビリティハブ」とは? ~産官学連携によるモビリティ革命~, リガーレセミナー, 2023年11月30日
- 牧村和彦 (2023) : モビリティ革命とMaaS (マース) ~世界で起きている潮流を知る~, 山形大学ツーリズム産業論, 2023年12月1日
- 牧村和彦 (2023) : ヒューマンファクターと都市交通, シンポジウム「これからのドライバヒューマンファクターを考える」, (公財) 自動車技術会, 2023年12月12日
- 牧村和彦 (2023) : モビリティの未来とまち, 「都市みらい第45回合同講演会」, 2023年12月13日
- 牧村和彦 (2023) : 今夜のプラス9 ライドシェア解禁のキーマン小泉議員を直撃, 「NIKKEI NEWS プラス」, テレビ東京, 2023年12月15日

- 牧村和彦（2023）：生活交通×デザイン～MaaSが都市（まち）を変えうるか～,「COMO×GOMO 勉強会」,2023年12月16日
- 牧村和彦（2023）：寄り道MaaS,大阪経済産業局MICE×MaaS委員会,2023年12月18日
- 牧村和彦（2023）：モビリティ革命と駐車政策,「令和5年新春セミナー」,全日本駐車協会,2023年2月
- 牧村和彦（2023）：自動運転から自動運転社会へ,「スマートモビリティチャレンジシンポジウム」,近畿経済産業局,2023年2月
- 牧村和彦（2023）：MaaSの最新動向と今後の展望,「地域MaaS社会実装シンポジウム」,関東経済産業局,2023年3月
- 牧村和彦（2023）：モビリティ革命と交通リ・デザイン,「第2回産業・技術委員会」,中部経済連合会,2023年3月
- 牧村和彦・森尾淳（2023）：国土・都市・交通の分野におけるGIS・地理空間情報等の活用状況,「今後の国土数値情報のあり方に関する検討会」,国土交通省,2023年11月17日
- 茂木渉（2025）：Mean Field Game理論と利用者均衡配分,「第7回交通・都市理論ドクター若手勉強会」,2025年11月5日
- 茂木渉（2024）：現在パターン法の理論基盤と実務適用上の留意点,「第6回交通・都市理論ドクター若手勉強会」,金沢大学,2024年12月5日
- Hiroyuki Hasada, Anna Mizuno, Seishu Kitamura, Ryo Kanamori（2025）：Sustainable On-demand Transit Under Demographic Shift via a Scenario-Based Behavioral Modeling Framework, "Proceedings of The 4th International Symposium on One Health, One World（OHOW 2025）", November 21, 2025
- Hiroyuki HASADA（2023）：Panel Discussion：“Open Science and Connecting Communities, Cross disciplinary Collaboration”, Discover the "Pathways to the Future" NSF Workshop, Arizona State University, October 15, 2023.
- Hiroyuki HASADA, Daisuke HASEGAWA, Yudai HONMA（2023）：An Optimization Method for Evaluating Facilities with Inaccessible Locations through Inverse Shortest Paths Problem, "International Symposium on Locational Decisions（ISOLDE）" XVI.
- Hiroyuki HASADA, Yudai HONMA, Takashi OGUCHI（2023）：An Inverse Shortest Paths Problem Model for Evaluating Urban Facilities Using Visit Data, "INFORMS Annual Meeting 2023", INFORMS, October 17, 2023.
- Takumi NISHIMURA（2023）：Road statistics and databook in Japan, "XXVIIth World Road Congress", PIARC, October 5, 2023.

4 書籍などの執筆

- 秋元伸裕（分担執筆）（2024）：第Ⅱ編 課題例6,「バスサービスハンドブック 改訂版」,土木学会土木計画学研究委員会,土木学会（丸善出版株式会社）
- 奥村誠・岸井隆幸・中井検裕・柄谷友香（2023）：土木の復興、今後に生かす東日本大震災復興の反省点—構想・計画・実施の各局面—（座談会）,「復興を描く」,土木学会誌編集委員会,（公社）土木学会
- 岸井隆幸（分担執筆）（2024）：関係者の証言①,「地上は緑に、首都高は地下に走らせる」,大橋吉隆・古谷文男,（株）幻冬舎,幻冬舎メディアコンサルティング
- 岸井隆幸（分担執筆）（2024）：一巡した暦の先にあるもの,「土木学会関東支部創立60周年記念誌」,土木学会関東支部創立60周年記念事業実行委員会,（公社）土木学会関東支部
- 岸井隆幸（分担執筆）（2024）：スポーツコンプレックス（Sports Complex）に向かって～スポーツとまちづく

りの連携,「スポーツの現在地を考える」,(一財)日本スポーツ政策推進機構,ベースボールマガジン社

HE Le (分担執筆) (2024) : Chapter 12. COVID-19 public transport responses in Tokyo, International Perspectives on Public Transport Responses to COVID-19, Takeru Shibayama and Guenter Emberger, Elsevier.

Takumi NISHIMURA (分担執筆) (2023) : Analysis of Collected Data in Collaboration with Some Official Statistics, PIARC DataBook of Road and Road Transport 2020-2023, PIARC.

Takumi NISHIMURA (分担執筆) (2023) : Case Study Results, Multimodal Solutions for Optimizing -Road Networks in Urban and Peri-Urban Areas, PIARC.

Takumi NISHIMURA (分担執筆) (2023) : Sustainable Business Model of Bike Sharing using ICT Technologies, Evaluating Impacts of New Mobility in Urban and Peri-Urban Areas, PIARC.